



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場会社名 株式会社マルイチ産商

上場取引所 名

コード番号 8228 URL <http://www.maruichi.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 井崎 俊彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 企画・管理部門統括 (氏名) 白井 幸男

TEL 026-285-4101

四半期報告書提出予定日 平成23年8月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	36,251	0.4	△99	—	28	—	△9	—
23年3月期第1四半期	36,123	△1.5	△163	—	△42	—	△29	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △5百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △127百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△0.40	—
23年3月期第1四半期	△1.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	35,272	16,155	45.8
23年3月期	33,971	16,253	47.8

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 16,155百万円 23年3月期 16,253百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2.00	—	4.00	6.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	2.00	—	4.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	74,500	△0.0	43	—	233	48.8	119	72.1	5.16
通期	150,500	△0.1	440	—	800	118.1	450	54.5	19.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	23,121,000 株	23年3月期	23,121,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	65,276 株	23年3月期	65,276 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	23,055,724 株	23年3月期1Q	23,056,010 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における食品流通業界を取り巻く環境は、東日本大震災の影響を受け震災当初は自粛ムードが拡がり、個人消費は弱含みで推移しましたが、その後は復興需要も加わり緩やかに回復傾向にありました。しかしながら、食料の原料価格の上昇傾向が継続し、さらに福島原発事故に起因する食品の汚染問題が発生するなど、不透明な状況が続く厳しい環境下にあります。

このような状況のもと、当社グループは、今期からスタートした中期経営計画「Cキューブー2013」に基づき、生鮮を基軸としたフルラインの強みを活かして、商品開発力、調達力及びマーケティング力の強化を図るとともに、管理費を中心としたコスト削減を進めてまいりました。

以上のことから、当第1四半期の売上高は、362億51百万円（前年同期比0.4%増加）と前年同期に対して1億27百万円の増収となりました。また、利益面においては、小売業に対するセンターフィーの増加はあったものの、管理費のコスト削減を進めたことにより、営業損失99百万円（前年同期は1億63百万円の営業損失）、経常利益28百万円（前年同期は42百万円の経常損失）、四半期純損失9百万円（前年同期は29百万円の四半期純損失）となりました。

【セグメント別の概況】

※各セグメントの売上高については、セグメント間の内部売上高を除いて記載しております。

<水産事業セグメント>

売上高 245億9百万円（前年同期比0.9%減）
営業損失 1億50百万円（前年同期は1億81百万円の営業損失）

売上高は、フードサービス事業で拡大が図られたものの、東日本大震災の被災で養殖銀鮭などの商品調達に影響を受けたことから、前年同期に対して僅かに減収となりました。

利益は、水産物の全般的な相場価格上昇に伴い、販売数量が伸び悩んだことから、売上総利益額が減少しましたが、販売費および一般管理費のコスト削減を進めたことから、営業損失は前年同期に対して30百万円の改善となりました。

<一般食品事業セグメント>

売上高 64億44百万円（前年同期比0.0%減）
営業損失 8百万円（前年同期は42百万円の営業損失）

売上高は、4月は震災直後の特需による反動から減少したものの、内食需要の高まりから、ほぼ前年並みとなりました。

利益は、震災による商品不足や原材料高騰による一部商品の値上げと、小売店頭における特売が減少し、定番商品の比重が高まったことから、売上総利益率の改善が図られました。更にコスト削減効果も加わり、営業損失は前年同期に対して33百万円の改善となりました。

<畜産事業セグメント>

売上高 52億30百万円（前年同期比7.3%増）
営業利益 56百万円（前年同期比45.4%増）

売上高は、牛肉では震災による自粛ムードから低迷を余儀なくされましたが、豚肉および鶏肉については、大きく売上が拡大したことから、全体では前年同期に対して3億57百万円の増収となりました。

利益は、売上高の拡大に伴う売上総利益額が増加したことから、営業利益は前年同期に対して17百万円の増益となりました。

<その他（物流事業、小売店支援事業、冷蔵庫事業、OA機器・通信機器販売及び保険代理店事業）>

売上高 66百万円（前年同期比5.3%増）
営業利益 3百万円（前年同期比82.1%減）

物流事業において、機能強化を目的とした事業投資を実施したことから、売上高は5.3%の増収となりましたが、機能強化に伴う一時的な費用が増えたことから、営業利益は減収となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産は352億72百万円となり、前連結会計年度末と比較して13億円の増加となりました。主な要因として、流動資産は「商品及び製品」が13億33百万円増加したことにより、12億44百万円増加し、190億44百万円となりました。また、固定資産は「土地」が1億4百万円増加したことにより、55百万円増加し、162億27百万円となりました。

負債は191億16百万円となり、前連結会計年度末と比較して13億98百万円の増加となりました。主な要因として、流動負債は「支払手形及び買掛金」が11億68百万円増加したことにより、14億17百万円増加し、173億12百万円となりました。また、固定負債は19百万円減少し、18億3百万円となりました。

純資産は前連結会計年度末と比較して98百万円減少し、161億55百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の47.8%から45.8%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成23年5月13日発表しました業績予想に変更はありません。

※業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,049	2,643
受取手形及び売掛金	10,726	10,945
商品及び製品	2,333	3,666
仕掛品	9	8
原材料及び貯蔵品	78	104
その他	1,744	1,803
貸倒引当金	△142	△126
流動資産合計	17,799	19,044
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,198	4,126
土地	7,604	7,709
その他（純額）	592	618
有形固定資産合計	12,395	12,454
無形固定資産		
のれん	404	386
その他	252	286
無形固定資産合計	656	673
投資その他の資産		
投資有価証券	2,200	2,181
その他	1,008	998
貸倒引当金	△89	△80
投資その他の資産合計	3,119	3,100
固定資産合計	16,171	16,227
資産合計	33,971	35,272
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,340	13,508
短期借入金	1,500	1,500
1年内返済予定の長期借入金	44	22
未払法人税等	15	48
賞与引当金	377	191
その他	1,617	2,041
流動負債合計	15,894	17,312
固定負債		
長期借入金	200	200
退職給付引当金	647	622
役員退職慰労引当金	203	211

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
債務保証損失引当金	102	102
資産除去債務	79	79
その他	589	587
固定負債合計	1,823	1,803
負債合計	17,717	19,116
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,719	3,719
資本剰余金	3,380	3,380
利益剰余金	9,239	9,138
自己株式	△52	△52
株主資本合計	16,286	16,185
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△32	△29
その他の包括利益累計額合計	△32	△29
純資産合計	16,253	16,155
負債純資産合計	33,971	35,272

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	36,123	36,251
売上原価	32,324	32,720
売上総利益	3,799	3,530
販売費及び一般管理費	3,963	3,629
営業損失(△)	△163	△99
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	45	48
受取賃貸料	41	39
その他	45	45
営業外収益合計	132	134
営業外費用		
支払利息	9	5
その他	1	1
営業外費用合計	11	6
経常利益又は経常損失(△)	△42	28
特別利益		
貸倒引当金戻入額	68	—
投資有価証券売却益	0	0
その他	—	0
特別利益合計	68	0
特別損失		
投資有価証券評価損	—	26
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	44	—
その他	2	—
特別損失合計	47	26
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△20	2
法人税、住民税及び事業税	32	79
法人税等調整額	△24	△67
法人税等合計	8	11
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△29	△9
四半期純損失(△)	△29	△9

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△29	△9
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△98	3
その他の包括利益合計	△98	3
四半期包括利益	△127	△5
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△127	△5
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	水産事業	一般食品 事業	畜産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	24,741	6,446	4,872	36,060	63	36,123	-	36,123
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	0	-	0	513	514	△514	-
計	24,741	6,447	4,872	36,061	576	36,638	△514	36,123
セグメント利益 又は損失 (△)	△181	△42	39	△184	20	△163	-	△163

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、小売業の店舗支援業、物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売業、保険代理店業等を含んでおります。

2. セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失 (△) の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「水産事業」セグメントにおいて、株式会社ナガレイの全株式を取得し、連結子会社化いたしました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては4億49百万円であります。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	水産事業	一般食品 事業	畜産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	24,509	6,444	5,230	36,184	66	36,251	-	36,251
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	0	-	0	705	706	△706	-
計	24,509	6,445	5,230	36,185	772	36,957	△706	36,251
セグメント利益 又は損失 (△)	△150	△8	56	△102	3	△99	-	△99

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、小売業の店舗支援業、物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売業、保険代理店業等を含んでおります。

2. セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失 (△) の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。